

## 北海道動物愛護推進員の活動状況について (活動内容等)

期間：令和4年（2022年）11月～令和5年（2023年）10月

表 北海道動物愛護推進員の活動内容

活動内容	件数	人数	詳細（件数の多い項目）
住民・知人からの相談	77	21	のら犬猫、しつけ・飼い方、健康相談、迷子捜索等
行事開催・協力・参加	55	21	動物愛護週間行事開催協力、講習会開催・講演・協力・参加
新しい飼い主探しの協力	51	10	飼い主探し協力、引取り・保護
動物救護	21	8	TNR 活動、避妊去勢手術等
普及啓発	20	11	チラシの配布、ポスター等の掲示
自己啓発	7	4	セミナー等への参加、関係団体等の活動
その他	10	7	地域巡回、飼い方等の指導
合計	241		

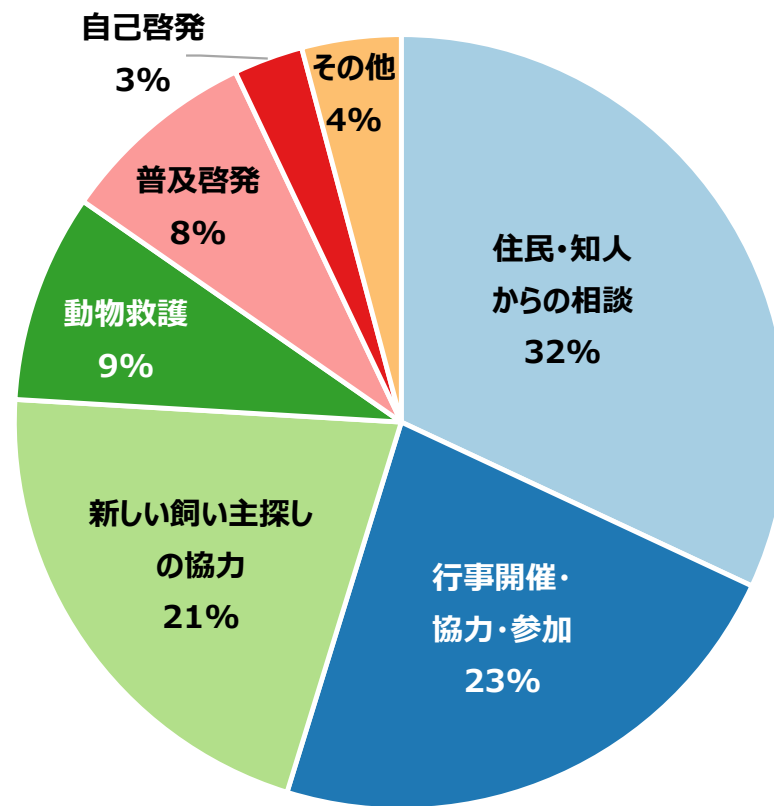


図6 北海道動物愛護推進員の活動内容件数内訳



## 北海道動物愛護推進員の活動状況について

## (活動実績報告内容 (抜粋))

期間 | 令和4年(2022年)11月～令和5年(2023年)10月

No.	内容	区分		
		感想	意見	提案
1	<p>個人の認識の甘さ、身勝手な行動により、増え広がって近所の迷惑となり、近年多くなった孤独死や自殺の問題で遺棄される動物たちが後をたたず、家族が責任を取らないという状況が余りある。</p> <p>行政も、結局ボランティア、個人に丸投げで「かわいそう」と思って保護して預かってくれた民間の市民に任せきりで、その後のフォローもなかったのもので、精神的にまいってしまったという事例あり。多くの期待しているわけではないが、もう少し、少しでも何か進展はないものだろうか。と疑問に思う。</p>	○	○	
2	<p>今年度も1番相談が多かったのは、高齢者が関わるものでした。入院、入所、死亡で取り残される猫がいることは、飼い主さん自身を予想できないことではありますが、「いつか何かあったときのために」準備しておく。後にペットが困らないために「終活」をする。ペットを飼っている高齢の家族がいる方も、もしもの時どうするのか、考えておく必要があること。これにつきるなぁと毎回思います。</p> <p>今後も振興局と、連携しながら悲しい結末を人も猫も迎えることのないよう活動していきたいです。</p> <p>提案なのですが、災害時の愛護推進員の活動について、講習会？勉強会？していただけるとうれしいです。ペット受入可能な避難所や、シェルターとして使ってもいいような場所があればと思います。</p>	○	○	○
3	<p>できないことをできると言って活動すると、どれだけの人に迷惑がかかるのかを他人事ではあったが痛感した。また、対象者が介護利用者だとしたら、対象者に関わるその立場の人たちで情報共有しながら動いていけば色々な無駄がなくなるが、連携をとる事のできない人たちも多かった。そして信頼関係をもって活動して行かなくては何も改善されない。行政は何もしてくれないと言う民に対しての説明も多かった。民が動かずして官は動けないと思う。</p> <p>また、犬猫は玩具のようなものではない事を言い伝え続けて行かなくてはならないと今年も強く思った。</p>	○		
4	<p>お寺さんの協力はありがたかったです。人が集まる場所がありますし、生命について深く考えていただけますので。もう少し行政が協力的であってほしいです。一人で抱えるのが難しいです。(猫)</p>	○	○	
5	<p>コロナの関係で動物愛護フェスティバルがなかった時があったが、毎年あるといいと思った。</p> <p>何かあれば、進んで動物に関することに関わっていただけたらと思う。</p>	○		
6	<p>北見市では、いくつかのイベント・譲渡会が何度かあり、どのような感じなのか。勉強のため、見学に行くと網走市には保護団体はなく、個人で何人かは頑張ってくれている方がいても、なかなか野良猫は減らず、網走市にも何かイベントとか開催していただければうれしいです。</p>	○	○	
7	<p>猫の虐殺事件が起こり、心を痛めています。二度とこの様々事件がないことを祈ります。</p>	○	○	

No.	内容	区分		
		感想	意見	提案
8	<p>(動物愛護イベントの運営に協力して) 犬猫たちのいままでやこれからをしっかりと理解できる機会だと思いますので、イベントに足を運んでいただけるよう幅広い周知、告知が重要であると考えられます。</p> <p>一匹でも多くの犬猫が少しでも早く、温かい普通幸せをつかめるよう、これからも何らかの形で参加協力していきたいと思ひます。</p>	○	○	
10	自身の経営する店舗のスペースを利用して、少しでも動物愛護活動に協力できてよかった。	○		
11	<p>数期にわたり、推進員を務めてきました。表立った活動はできませんでしたが、動物愛護に少しでも触れることができ良かったです。</p> <p>市民、行政、愛護団体、推進員がもう少し連携をとれる組織づくりができれば、今後も発展していくと思ひます。</p>	○	○	
12	<p>団体で活動していると、子猫の案件が多いです。</p> <p>市民からは、保健所に連絡をしても、話も聞いてくれないという声をよく聞きます。市民の方がどのように連絡しているのかは、その場にはないので、わかりませんが、かなり対応が悪いようです。</p> <p>でも、保健所は、あくまで保管という立場なので、ポンポンと子猫を収容するのも、難しいですし・・・。</p> <p>より市民に伝えていけないなと思ひました。</p>	○		
13	<p>イベントや講習会などになかなか参加することができなかつたので、来年は積極的に参加していけたらと思ひています。</p> <p>様々なわんちゃんを見てきましたが、肥満や瘦躯の子が多く見受けられました。</p> <p>今後、食事や運動の重要性や正しい飼い方などのアドバイスをしていきたいと思ひます。</p>	○		
14	<p>野良猫をこれ以上増やさないために、野良猫の避妊去勢ができるシステムができることを望みます。</p> <p>子供たちへの動物愛護啓発の活動をしたいと思ひていますが、そのようなことを積極的に行っていて、かつ効果が出ているようなところはあれば見学などしてみたいと思ひています。</p>	○		